

SYLLABUS

講義要項

2022

診療情報管理専攻科



学校法人 川口学園

早稲田速記医療福祉専門学校

目 次

利用の手引き

診療情報管理専攻科	1 年生.....	1
-----------	-----------	---

利用の手引き

この『講義要項』は、早稲田速記医療福祉専門学校の2022年度の授業科目について、講義の内容をあらかじめ示したものです。皆さんは、これに従って自分の履修する授業科目について詳しく知ることができます。

以下に授業科目の各項目を読むにあたっての留意点を示しますので、よく参照のうえ、この『講義要項』を十分に活用してください。

【基本情報】

基本情報欄は、授業科目の属性（科目区分）を記載する欄であり、次の項目についてカリキュラムに明記されている授業科目の属性を記載しています。

科目名	①		担当教員		②		単位数	③	
対象学科	④		学年	⑤年	授業形態	⑥	法令等指定	⑦	
履修方法	⑧	科目内容	⑨	授業期間	⑩	授業期	⑪	卒業要件	⑫
実務経験教員	⑬	実務経験内容	⑭						

記載項目	記載事項
①科目名	カリキュラムに記載されている授業科目名
②担当教員	授業科目の担当教員名（同一の授業を複数の教員が担当する場合は連名併記）
③単位数	カリキュラムに記載されている授業科目の単位数
④対象学科	その授業を実施する学科名（同一の授業科目を複数の学科で実施する場合は併記せず、それぞれ別に作成）
⑤学年	カリキュラムに記載されている授業科目の実施学年
⑥授業形態	カリキュラムに記載されている授業科目の授業形態（講義、演習、実技、実習など）
⑦法令等指定	カリキュラムに法令等による資格取得に関わる授業科目とある場合は○印を記入
⑧履修方法	カリキュラムに記載されている履修方法による科目区分（登録指定科目、選択科目）
⑨科目内容	カリキュラムに記載されている科目内容による登録指定科目の科目区分（基礎科目、専門科目、関連科目）
⑩授業期間	カリキュラムに記載されている授業期間による科目区分（半期、通年、集中）
⑪授業期	その授業科目を開講する授業期（前期、後期）
⑫卒業要件	カリキュラムに単位取得が卒業要件となっている科目の場合は○印を記入
⑬実務経験教員	実務経験のある教員による授業科目の場合は○印を記入
⑭実務経験内容	実務経験のある教員が経験した実務内容と、その経験を生かして行う教育内容

【位置付け】

その授業科目が、学校・学科の教育目的・目標とどのように関連しているのか、カリキュラムの中でどのような位置付けを与えられ、何を期待されているのかを記載しています。

【授業の目的】

授業の目的欄は、担当教員はその授業の分野、テーマにおいて何をポイントとして、何を伝えたいか、授業の目的は何かを記載しています。

【授業の到達目標】

その授業の終了時点で学生はどのような知識、技能などを得られるのか、何ができるようになっていくのか。そのような到達目標を記載しています。

【成績評価の方法】

成績評価の項目とその評価割合が記載されています。

※出席状況については学則第27条により、一部の実習科目を除き、評価割合に関わらず、出席時間数が授業時間数の2/3以上なければ評価の対象になりません。

【成績評価に関するコメント】

設定した成績評価項目と授業の到達目標との関連、具体的な評価項目の実施内容・実施方法、その他に特殊な出席の取扱いなどを記載しています。

【学生へのメッセージ】

担当教員から、授業への取り組み方や授業を進めるに際してお願いしたいことを記載しています。

【テキスト】

授業に使用するもので、受講者全員が所持すべきものを記載しています。

【参考図書・資料・参考ホームページ】

授業の参考として学生が各自の判断で入手するものを記載しています。

【授業計画】

目標に到達するための授業の内容、進め方（方法）を各授業の回毎に具体的に記載しています。

診療情報管理専攻科 1年生

診療情報管理専攻科 2022年度生カリキュラム

科目区分		科目名	授業形態			合計		診療情報管理士受験資格
履修方法	科目内容			単位数	時間数	単位数	時間数	
登録指定科目	専門科目	臨床医学総合Ⅰ	講義	6	90	6	90	
		臨床医学総合Ⅱ	講義	6	90	6	90	
		診療情報管理士認定模擬試験Ⅰ	演習	1	15	1	15	
		診療情報管理士認定模擬試験Ⅱ	演習	1	15	1	15	
		診療情報各論	講義	2	30	2	30	
		医療統計	講義	2	30	2	30	○
		診療情報管理総合	講義	2	30	2	30	
		DPC概論Ⅰ	講義	1	15	1	15	○
		DPC概論Ⅱ	講義	1	15	1	15	○
		DPC応用演習	演習	1	15	1	15	
		医療データ分析	演習	2	30	2	30	
		カルテ読解Ⅰ	講義	2	30	2	30	
		カルテ読解Ⅱ	講義	2	30	2	30	
		医学用語実践	講義	1	15	1	15	
		国際統計分類Ⅰ	演習	2	30	2	30	○
		国際統計分類Ⅱ	演習	2	30	2	30	
		がん登録演習	演習	4	60	4	60	
		病院マネジメントⅠ	演習	2	30	2	30	
		病院マネジメントⅡ	演習	2	30	2	30	
		マイクロソフトオフィス応用演習	演習	4	60	4	60	
		データベース応用演習	演習	4	60	4	60	
		キャリアデザインC	講義	1	15	1	15	
		医療情報技師概論	講義	4	60	4	60	
		診療情報管理実習	実習	2	60	2	60	
合 計				57	885	57	885	

※診療情報管理専攻科の修了には、修業年限以上在学し、800時間相当の単位数の修得が必要

科目名	臨床医学総合 I			担当教員	渋谷 大樹		単位数	6
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員		実務経験 内容						
<input type="checkbox"/> 位置付け 診療情報管理士認定試験基礎領域の試験対策に特化した科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 診療情報管理士試験の合格レベルの知識を習得することを最大の目的とし、くわえて医療関係の仕事上で役立つ関連知識も同時に学ぶことも目的とする。その目的達成のために、テキスト、模擬問題を中心に演習形式の授業を進める。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 診療情報管理士テキスト・基礎医学編のキーワードを確実に理解し、その関連の模擬問題も解答できるレベルの知識習得の授業により、診療情報管理士試験の合格するレベルに達することを目標とする。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法		評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント				
出席状況			10	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 範囲が広く大変だと思いますが、必ず必要となる内容なので、頑張って勉強をしましょう。分からないところがあれば気軽に質問してください。				
試験等	提出物		—					
	作文		—					
	随時試験		40					
	定期試験		40					
	平常の授業状況 ()		10					
その他 ()		—						
合計			100%					
<input type="checkbox"/> テキスト ・診療情報管理 I 基礎・医学編 (日本病院会)				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	オリエン	授業の進行について
2	細胞	細胞、細胞内小器官
3	血液	血液、浸透圧
4	血球	血球、分化
5	赤血球	赤血球、血液型
6	貧血	貧血の概要、疾患
7	白血球	白血球、免疫
8	免疫系の疾患	アレルギー、自己免疫疾患
9	血小板	血小板、血液凝固
10	血液凝固機能障害	血液凝固機能障害、血友病、DIC
11	呼吸器系①	呼吸器系の解剖
12	呼吸器系②	呼吸器系の生理機能
13	酸塩基平衡①	酸塩基平衡
14	酸塩基平衡②	酸塩基平衡、アシドーシス、アルカローシス
15	換気障害①	肺活量、一秒率、気管支喘息
16	換気障害②	肺気腫、慢性気管支炎、間質性肺炎、肺線維症、

17	循環器系①	循環器系の解剖
18	循環器系②	循環器系の生理機能
19	心疾患①	弁膜疾患、心肥大
20	心疾患②	刺激伝導系の疾患
21	消化器系①	消化器系の解剖
22	消化器系②	消化器系の生理機能
23	消化器系疾患①	消化管の疾患
24	消化器系疾患②	消化腺の疾患
25	泌尿器系	腎機能、尿路
26	腎疾患①	ネフローゼ症候群
27	腎疾患②	慢性腎不全、急性腎不全
28	排尿障害	尿路結石、尿路感染症
29	内分泌系①	内分泌腺、視床下部-下垂体系
30	内分泌系②	甲状腺、副甲状腺、膵臓
31	内分泌疾患①	副腎、下垂体後葉
32	内分泌疾患②	性ホルモン
33	神経系①	神経系の解剖
34	神経系②	神経系の生理機能
35	神経系疾患①	中枢神経系
36	神経系疾患②	末梢神経系
37	感覚器系①	視覚器系
38	感覚器系②	聴覚器系、平衡感覚器系
39	感覚器系の疾患①	眼疾患
40	感覚器系の疾患②	聴覚器・平衡感覚器系の疾患
41	感染症	病原性微生物の分類
42	精神疾患	精神疾患の分類
43	周産期	周産期、婦人科系疾患
44	皮膚疾患	皮膚の構造、皮膚疾患
45	期末試験	

科目名	臨床医学総合Ⅱ			担当教員	渋谷 大樹		単位数	6
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員		実務経験 内容						
<input type="checkbox"/> 位置付け 診療情報管理士認定試験基礎領域の試験対策に特化した科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 診療情報管理士試験の合格レベルの知識を習得することを最大の目的とし、くわえて医療関係の仕事上で役立つ関連知識も同時に学ぶことも目的とする。その目的達成のために、問題演習、テキスト、模擬試験を中心に演習形式の授業を進める。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 診療情報管理士テキスト・基礎医学編のキーワードを確実に理解し、その関連の模擬問題も解答できるレベルの知識習得の授業により、診療情報管理士試験の合格するレベルに達することを目標とする。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法		評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント				
出席状況			20	・定期試験の他、出席状況等も成績に含めます。				
試験等	提出物			<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ ・問題演習を中心に授業を行っていきます。分からないところがあれば質問してください。				
	作文							
	随時試験		40					
	定期試験		30					
	平常の授業状況（授業態度）		10					
その他（ ）								
合計			100%					
<input type="checkbox"/> テキスト				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				
・診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編（日本病院会）				・診療情報管理 基礎分野 一問一答				

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	問題演習①	基礎領域 1章～11章の問題演習
2	問題演習②	基礎領域 1章～11章の問題演習
3	問題演習③	基礎領域 1章～11章の問題演習
4	問題演習④	基礎領域 1章～11章の問題演習
5	問題演習⑤	基礎領域 1章～11章の問題演習
6	問題演習⑥	基礎領域 1章～11章の問題演習
7	問題演習⑦	基礎領域 1章～11章の問題演習
8	問題演習⑧	基礎領域 1章～11章の問題演習
9	問題演習⑨	基礎領域 1章～11章の問題演習
10	問題演習⑩	基礎領域 1章～11章の問題演習
11	問題演習⑪	基礎領域 1章～11章の問題演習
12	問題演習⑫	基礎領域 1章～11章の問題演習
13	問題演習⑬	基礎領域 1章～11章の問題演習
14	問題演習⑭	基礎領域 1章～11章の問題演習
15	問題演習⑮	基礎領域 1章～11章の問題演習
16	問題演習⑯	基礎領域 1章～11章の問題演習
17	問題演習⑰	基礎領域 1章～11章の問題演習

18	問題演習⑱	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
19	問題演習⑲	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
20	問題演習⑳	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
21	問題演習㉑	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
22	問題演習㉒	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
23	問題演習㉓	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
24	問題演習㉔	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
25	問題演習㉕	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
26	問題演習㉖	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
27	問題演習㉗	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
28	問題演習㉘	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
29	問題演習㉙	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
30	問題演習㉚	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
31	問題演習㉛	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
32	問題演習㉜	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
33	問題演習㉝	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
34	問題演習㉞	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
35	問題演習㉟	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
36	問題演習㊱	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
37	問題演習㊲	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
38	問題演習㊳	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
39	問題演習㊴	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
40	問題演習㊵	基礎領域 1 章～11 章の問題演習
41	問題演習復習①	問題演習①～㉚までの復習
42	問題演習復習②	問題演習①～㉚までの復習
43	問題演習復習③	問題演習①～㉚までの復習
44	問題演習復習④	問題演習①～㉚までの復習
45	定期試験	

科目名	診療情報管理士認定模擬試験Ⅰ			担当教員	江崎 侑子		単位数	1
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	総合病院の診療情報管理士として6年間従事。実務経験を活かし、現場における知識の活用法も教授することで、実践力を養います。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 診療情報管理士認定試験合格のための試験対策に特化した科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 診療情報管理士認定試験の受験対策として、継続的に模擬試験を実施する。 これにより、自身の学習到達度の把握や苦手分野の洗い出しをすることで、さらなる受験勉強の効率化を図る。また、認定試験本番において自身の実力が最大限発揮できるよう、試験の受験スタイルに慣れることも目的とする。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ①学習到達度から適切な学習スケジュールを組むことで、認定試験合格レベルの知識を習得する。 ②自身の苦手分野を克服することで、認定試験における得点力を身につける。 ③認定試験の受験スタイルや問題形式に慣れる。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント 模擬試験に準じた定期試験で評価します。			
出席状況				-	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 自身の実力を試す貴重な機会です。 自主学習を怠らず、常に本番の認定試験を受ける気持ちで挑みましょう。 自己採点後は、苦手分野や学習到達度を確認し、それに応じた学習スケジュールを適宜立てることを習慣づけてください。			
試験等	提出物			-				
	レポート			-				
	随時試験			-				
	定期試験			100				
	平常の授業状況 ()			-				
その他 ()			-					
合計				100%				
<input type="checkbox"/> テキスト					<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ			

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	診療情報管理模擬試験	模擬試験の実施・解説
2	〃	〃
3	〃	〃
4	〃	〃
5	〃	〃
6	〃	〃
7	〃	〃
8	定期試験	

科目名	診療情報管理士認定模擬試験Ⅱ			担当教員	江崎 侑子		単位数	1
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	総合病院の診療情報管理士として6年間従事。実務経験を活かし、現場における知識の活用法も教授することで、実践力を養います。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 診療情報管理士認定試験合格のための試験対策に特化した科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 診療情報管理士認定試験の受験対策として、継続的に模擬試験を実施する。 これにより、自身の学習到達度の把握や苦手分野の洗い出しをすることで、さらなる受験勉強の効率化を図る。また、認定試験本番において自身の実力が最大限発揮できるよう、試験の受験スタイルに慣れることも目的とする。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ①学習到達度から適切な学習スケジュールを組むことで、認定試験合格レベルの知識を習得する。 ②自身の苦手分野を克服することで、認定試験における得点力を身につける。 ③認定試験の受験スタイルや問題形式に慣れる。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント 模擬試験に準じた定期試験で評価します。			
出席状況					<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 自身の実力を試す貴重な機会です。 自主学習を怠らず、常に本番の認定試験を受ける気持ちで挑みましょう。 自己採点后は、苦手分野や学習到達度を確認し、それに応じた学習スケジュールを適宜立てることを習慣づけてください			
試験等	提出物							
	レポート							
	随時試験			100				
	定期試験							
	平常の授業状況 ()							
その他 ()								
合計				100%				
<input type="checkbox"/> テキスト					<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ			

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	診療情報管理模擬試験	模擬試験の実施・解説
2	〃	〃
3	〃	〃
4	〃	〃
5	〃	〃
6	〃	〃
7	〃	〃
8	定期試験	

科目名	診療情報各論			担当教員	江崎 侑子		単位数	2
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	総合病院の診療情報管理士として6年間従事。実務経験を活かし、現場での実践力を養います。					
□位置付け DPC制度における診療情報管理士の実務を理解し、医師事務作業補助者業務およびがん登録の実務への応用について学習する科目である。								
□授業の目的 以下の知識を習得することで、診療情報管理士認定試験の合格を目指す。 ①DPC影響調査の概要と調査データの種類やその活用について学習する。 ②日本におけるがん対策の基本方針やがん登録の概要について学ぶ。 ③医師事務作業補助者の業務や体制について学ぶ。 ④レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の概要を理解する。								
□授業の到達目標 ①DPC影響調査の概要と調査データの種類やその活用について理解できる。 ②日本におけるがん対策の基本方針やがん登録の概要について理解できる。 ③医師事務作業補助者の業務や体制について理解できる。 ④レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の概要を理解できる。								
□成績評価の方法			評価項目	割合	□成績評価に関するコメント			
出席状況				-	定期試験の他、各領域に応じた小テストを適宜実施します。			
試験等	提出物			-	□学生へのメッセージ 診療情報管理士認定試験に出題される内容です。知識の定着を確実に図れるよう、授業には集中して取り組みましょう。			
	レポート			-				
	随時試験			30				
	定期試験			70				
	平常の授業状況（ ）			-				
その他（ ）			-					
合計				100%				
□テキスト 診療情報管理Ⅳ 専門・8章～12章 専門分野一問一答（エッセイレポート）				□参考図書・資料・参考ホームページ				

□授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	DPCの影響調査	DPC制度についての復習
2	〃	〃
3	〃	DPC影響調査、データ提出加算
4	〃	〃
5	〃	調査データ
6	〃	〃
7	〃	データの精度、病院指標の公開
8	〃	DPCデータの活用
9	医師事務作業補助者	医師事務作業補助者の業務
10	〃	医師事務作業補助体制加算
11	〃	医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わり
12	がん登録	がん対策基本法、がん登録の種類
13	NDB	NDBの概要
14	総復習	
15	定期試験	

科目名	医療統計			担当教員	江崎 侑子		単位数	2	
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定	○
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件	
実務経験 教員	○	実務経験 内容	総合病院の診療情報管理士として6年間従事。実務経験を活かし、現場における知識の活用法も教授することで、実践力を養います。						
<input type="checkbox"/> 位置付け 統計の基礎理論を学び、病院統計および疾病統計の資料を理解し作成できるスキルを身につけるための科目である。									
<input type="checkbox"/> 授業の目的 この科目は診療情報管理士認定試験の指定科目である。 以下の知識を習得することで、診療情報管理士認定試験の合格を目指す。 ①統計の基礎を学び、診療情報管理士として求められる情報の活用・分析法を身につける。 ②データの可視化について学習する。 ③臨床研究の代表的な手法と医学系研究に関する倫理指針について学ぶ。									
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ①代表値と散布度の算出方法やふさわしい使い方が理解できる。 ②相関係数の基本的な考え方やふさわしい使い方が理解できる。 ③母集団や標本といった推測統計の基本概念について理解できる。 ④代表的な仮説検定の考え方やふさわしい使い方が理解できる。 ⑤データに応じた適切なグラフ表現ができる。 ⑥臨床研究の代表的な手法と医学系研究に関する倫理指針について理解できる。									
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法 評価項目				割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント 定期試験の他、各領域に応じた小テストを適宜実施します。				
出席状況				-	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 診療情報管理士認定試験の指定科目となります。知識の定着を確実に図れるよう、授業には集中して取り組みましょう。 √計算ができる電卓を持参してください。				
試験等	提出物			-					
	レポート			-					
	随時試験			30					
	定期試験			70					
	平常の授業状況 ()			-					
その他 ()			-						
合計				100%					
<input type="checkbox"/> テキスト 診療情報管理Ⅲ 専門・1章～7章(日本病院会) 専門分野一問一答(エシユカルポート)					<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	統計とは	統計的方法、変量と尺度
2	記述統計	度数分布
3	データの数値的な要約	代表値と散布度
4	〃	代表値と散布度
5	散布図	共分散と相関係数、回帰直線
6	推測統計	母集団と標本、確率変量と確率分布
7	正規分布	正規分布
8	母数の推定	点推定と区間推定
9	仮説検定	t検定、帰無仮説の手順
10	〃	〃
11	〃	χ^2 検定(適合度と独立性)
12	〃	〃
13	データのグラフ表現	データの視覚化、各種グラフ
14	臨床研究の主な手法	コホート研究、症例対照研究
15	定期試験	

科目名	診療情報管理総合			担当教員	江崎 侑子		単位数	2
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	総合病院の診療情報管理士として6年間従事。実務経験を活かし、現場における知識の活用法も教授することで、実践力を養います。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 診療情報管理士認定試験専門領域の試験対策に特化した科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 診療情報管理士認定試験における専門領域は、管理士の業務に直結した、まさに基本となるべき内容である。この授業では、専門領域の全ての章を網羅した認定試験対策を行う。対策問題を繰り返し解くことで、更なる知識定着を図り、診療情報管理士認定試験合格を目指す。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ①認定試験合格レベルの知識を習得する。 ②自身の苦手分野を克服することで、認定試験における得点力を身につける。 ③試験勉強としての知識習得にとどまらず、現場で応用できることを最終目標とする。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント 定期試験の他、各領域に応じた小テストを適宜実施します。			
出席状況				—	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 診療情報管理士認定試験合格のカギは「いかに努力するか」です。知識の定着を確実に図れるよう、授業には集中して取り組みましょう。自主学習を怠らず、最後まで努力してください。			
試験等	提出物			—				
	レポート			—				
	随時試験			30				
	定期試験			70				
	平常の授業状況（授業態度）			—				
その他（ ）			—					
合計				100%				
<input type="checkbox"/> テキスト 診療情報管理Ⅲ・Ⅳ（日本病院会） 専門分野一問一答（エンジニアリングレポート）				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	医療管理総論	要点の解説、認定試験対策問題の演習
2	医療管理各論Ⅰ	〃
3	医療管理各論Ⅱ	〃
4	医療管理各論Ⅲ	〃
5	保健医療情報学	〃
6	医療統計Ⅰ	〃
7	〃	〃
8	医療統計Ⅱ	〃
9	診療情報管理Ⅰ	〃
10	診療情報管理Ⅱ	〃
11	診療情報管理Ⅲ	〃
12	国際統計分類Ⅰ	〃
13	国際統計分類Ⅱ	〃
14	〃	〃
15	定期試験	〃

科目名	D P C 概論 I			担当教員	石崎 義弘		単位数	1	
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1 年	授業形態	講義	法令等指定	○
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件	
実務経験 教員	○	実務経験 内容	診療情報管理士として病院の医事、診療情報管理部門等に 25 年勤務。日本診療情報管理学会認定診療情報管理指導者。実務経験を活かし、現場での実践力を養います。						
<input type="checkbox"/> 位置付け D P C 制度による診療報酬請求の基本知識を習得したうえで、調査データ活用について応用できる技能を身につけるための科目である。									
<input type="checkbox"/> 授業の目的 以下の知識を習得し、D P C 制度を総合的に学ぶ。 ① D P C 制度において傷病名コーディングをする際の注意点や着眼点について学ぶ。 ② D P C 調査データの作成・分析法について学ぶ。 ③ 医療機関別係数の構成について理解する。									
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ① D P C 制度についての基礎知識を身につける。 ② D P C における医療資源病名（I C D コーディング）の基礎を理解する。 ③ D P C 調査データ（様式 1・様式 3・統合 E F ファイル・D ファイル）の構成を理解する。 ④ D P C 調査データを用いて、適切な集計・分析を行うための知識を身につける。									
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント				
出席状況					定期試験の他、各領域に応じた小テストを適宜実施します。				
試験等	提出物				<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 診療情報管理士認定試験に出題される領域であると同時に、業務に直結する内容です。知識の定着を確実に図れるよう、授業には集中して取り組みましょう。				
	レポート								
	随時試験			20					
	定期試験			70					
	平常の授業状況（ ）			10					
その他（ ）									
合計				100%					
<input type="checkbox"/> テキスト					<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				
診療情報管理Ⅳ 専門・8 章～12 章 D P C 点数早見表									

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	D P C の概要	ケースミックス、D P C と D R G
2	D P C 請求	D P C 請求の基本的ルール
3	〃	D P C 点数の設定、出来高評価項目
4	医療資源病名選択	医療資源病名選択の実務
5	医療機関別係数	基礎係数
6	〃	機能評価係数 I
7	〃	機能評価係数 II
8	D P C 参加病院	D P C 対象病院・D P C 基準病院の基準要件

科目名	D P C 概論Ⅱ			担当教員	石崎 義弘		単位数	1	
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定	○
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件	
実務経験 教員	○	実務経験 内容	診療情報管理士として病院の医事、診療情報管理部門等に25年勤務。日本診療情報管理学会認定診療情報管理指導者。実務経験を活かし、現場での実践力を養います。						
<input type="checkbox"/> 位置付け D P C 制度による診療報酬請求の基本知識を習得したうえで、調査データ活用について応用できる技能を身につけるための科目である。									
<input type="checkbox"/> 授業の目的 以下の知識を習得し、D P C 制度を総合的に学ぶ。 ①D P C 制度において傷病名コーディングをする際の注意点や着眼点について学ぶ。 ②D P C 調査データの作成・分析法について学ぶ。 ③医療機関別係数の構成について理解する。									
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ①D P C 制度についての基礎知識を身につける。 ②D P C における医療資源病名（I C D コーディング）の基礎を理解する。 ③D P C 調査データ（様式1・様式3・統合E F ファイル・D ファイル）の構成を理解する。 ④D P C 調査データを用いて、適切な集計・分析を行うための知識を身につける。									
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント				
出席状況					定期試験の他、各領域に応じた小テストを適宜実施します。				
試験等	提出物				<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 診療情報管理士認定試験に出題される領域であると同時に、業務に直結する内容です。知識の定着を確実に図れるよう、授業には集中して取り組みましょう。				
	レポート								
	随時試験			20					
	定期試験			70					
	平常の授業状況（ ）			10					
その他（ ）									
合計				100%					
<input type="checkbox"/> テキスト					<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				
診療情報管理Ⅳ 専門・8章～12章 D P C 点数早見表									

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	D P C 影響調査	影響調査データの種類
2	データ提出加算	データ提出加算の要件
3	診療録管理体制加算	診療録管理体制加算1・2の要件
4	D P C データの活用	D P C データの精度の担保
5	〃	病院指標の公開
6	D P C データの活用実習	D P C データの活用を行い分析を学ぶ
7	まとめ	
8	定期試験	

科目名	DPC応用演習			担当教員	遠山 伸洋		単位数	1
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	診療情報管理士として病院で3年勤務。DPCデータの作成、データを活用した分析等の実務経験をもとに実践力を養う。					
□位置付け DPC制度による診療報酬請求の基本知識を習得したうえで、調査データ活用について応用できる技能を身につけるための科目である。								
□授業の目的 以下の知識を習得し、DPC制度を総合的に学ぶ。 ①DPC制度において傷病名コーディングをする際の注意点や着眼点について学ぶ。 ②DPC調査データの作成・分析法について学ぶ。 ③医療機関別係数の構成について理解する。								
□授業の到達目標 ①DPC制度についての基礎知識を身につける。 ②DPCにおけるICDコーディングの基礎を理解する。 ③DPC調査データ（様式1・様式3・統合EFファイル・Dファイル）の構成を理解する。 ④DPC調査データを用いて、適切な集計・分析を行うことができる。								
□成績評価の方法			評価項目	割合	□成績評価に関するコメント			
出席状況				20	定期試験は実施しませんが、小テストを随時実施し、その結果と出席状況にて成績評価を行います。			
試験等	提出物			—	□学生へのメッセージ DPCデータの活用は、診療情報管理業務でとても重要になります。将来的に必要な知識なので、授業には集中して取り組みましょう。			
	レポート			—				
	随時試験			80				
	定期試験			—				
	平常の授業状況（ ）			—				
	その他（ ）			—				
合計				100%				
□テキスト					□参考図書・資料・参考ホームページ			

□授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	様式1ファイル	様式1の作成・DPC基礎調査におけるICDコーディング
2	〃	様式1の作成・単体チェック
3	〃	様式1の作成・単体チェック
4	小テスト	様式1の作成・単体チェック
5	〃	様式1データの集計・分析（救急車搬送別件数・退院時転帰別件数）
6	〃	様式1データの集計・分析（診療科別平均在院日数）
7	〃	様式1データの集計・分析（ICD-10大分類別件数）
8	小テスト	様式1データの集計・分析

科目名	医療データ分析			担当教員	遠山 伸洋		単位数	2
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	診療情報管理士として病院で3年勤務。診療情報の基本的な集計や分析を、実務経験をもとにわかりやすく丁寧に教授する。					
□位置付け 診療情報を活用するための統計学的データ処理の基礎を学ぶ科目である。								
□授業の目的 ①Excelの関数を用いてデータを集計する方法を習得する。 ②集計したデータを視覚化(グラフ)する方法を習得する。 ③集計したデータを分析する方法を習得する。								
□授業の到達目標 ①Excelの関数を用いてデータを集計することができる。 ②集計したデータの種類に合わせて、適切なグラフを作成することができる。 ③実際の医療現場で行われている疾病統計等を行うことができる。								
□成績評価の方法			評価項目	割合	□成績評価に関するコメント			
出席状況				20	定期試験は実施しませんが、小テストを随時実施し、その結果と出席状況にて成績評価を行います。 □学生へのメッセージ 医療データの統計学的な処理は、医療現場ではとても重要になります。将来的に必要な知識なので、授業には集中して取り組みましょう。			
試験等	提出物		—					
	レポート		—					
	随時試験		80					
	定期試験		—					
	平常の授業状況(授業態度)		—					
その他()				—				
合計				100%				
□テキスト					□参考図書・資料・参考ホームページ			

□授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	収集したデータの取り扱い	データ入力、ヒストグラム、ピボットグラフ
2	練習問題	ダミーデータを用いての集計・分析
3	確認テスト	データ入力、ヒストグラム、ピボットグラフ
4	統計量の求め方	平均値、中央値、最頻値
5	〃	分散、標準偏差、偏差値
6	練習問題	ダミーデータを用いての集計・分析
7	確認テスト	平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差、偏差値
8	要因分析の手法	相関係数、順位相関
9	練習問題	ダミーデータを用いての集計・分析
10	〃	〃
11	確認テスト	相関係数、順位相関
12	データベース関数	VLOOKUP、DSUM、COUNTIF
13	練習問題	ダミーデータを用いての集計・分析
14	〃	〃
15	確認テスト	VLOOKUP、DSUM、COUNTIF

科目名	カルテ読解 I			担当教員	大坪 渉		単位数	2
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験教員	○	実務経験内容	獣医師として、小動物臨床病院で9年間勤務。犬猫等を対象に一般内科・外科を担当する。病気の原因、メカニズムを分かりやすく解説し、症状や治療の理解へと繋げる。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 疾病を理解するために必要なカルテ読解の実践的演習を行う科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 人体の解剖生理および疾病についての理解を高めるだけでなく、膨大な基礎・医学の範囲において覚えるべきポイントを明確にし、自己学習の際に役立つことを目的としている。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 診療情報管理士合格を目標とするが、医療秘書技能検定1級ならびに準1級を取得する事も併せて目標とする。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法		評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント				
出席状況			5	試験の成績により評価する。				
試験等	提出物		—	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 本授業は資格試験に合格することを目的としています。皆さんの合格に少しでも役立つ授業にしたいと思います。本授業は基本的にオンデマンドでの配信になりますが、質問には適宜対応しますので、分からない点などがあつたら遠慮なく連絡をしてください。資格試験合格のために一緒に頑張りましょう。				
	レポート		—					
	随時試験		—					
	定期試験		95					
	平常の授業状況 ()		—					
	その他 ()		—					
合計			100%					
<input type="checkbox"/> テキスト 診療情報管理 I ・基礎医学編				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	オリエンテーション	授業の進め方・学習方法の確認、実力確認小テスト
2	第4章	感染症および寄生虫症
3	〃	〃
4	〃	〃
5	〃	〃
6	第2章	人体構造・機能論（循環器、消化器を中心に）
7	〃	〃
8	第5章	新生物
9	〃	〃
10	〃	〃
11	〃	〃
12	第8章	循環器・呼吸器系
13	〃	〃
14	〃	〃
15	定期試験	

科目名	カルテ読解Ⅱ			担当教員	大坪 渉		単位数	2
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	獣医師として、小動物臨床病院で9年間勤務。犬猫等を対象に一般内科・外科を担当する。病気の原因、メカニズムを分かりやすく解説し、症状や治療の理解へと繋げる。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 疾病を理解するために必要なカルテ読解の実践的演習を行う科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 人体の解剖生理および疾病についての理解を高めるだけでなく、膨大な基礎・医学の範囲において覚えるべきポイントを明確にし、自己学習の際に役立つことを目的としている。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 診療情報管理士テキスト・基礎医学編のキーワードを確実に理解し、その関連の模擬問題も解答できるレベルの知識習得の授業により、診療情報管理士試験の合格するレベルに達することを目標とする。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント			
出席状況				5	試験の成績により評価する。			
試験等	提出物			—	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 前期に続き、本授業は資格試験に合格することを目的としています。皆さんの合格に少しでも役立つ授業にしたいと思います。資格試験合格のために一緒に頑張りましょう。			
	レポート			—				
	随時試験			—				
	定期試験			95				
	平常の授業状況 ()			—				
その他 ()			—					
合計				100%				
<input type="checkbox"/> テキスト 診療情報管理Ⅰ・基礎医学編					<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ			

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	第8章	循環器・呼吸器系
2	〃	〃
3	第9章	消化器・泌尿器系
4	〃	〃
5	〃	〃
6	〃	〃
7	第2章	人体構造・機能論（ホルモンを中心に）
8	〃	〃
9	第6章	血液・代謝・内分泌等
10	〃	〃
11	〃	〃
12	第10章	周産期系
13	〃	〃
14	〃	〃
15	定期試験	

科目名	医学用語実践			担当教員	遠山 伸洋		単位数	1
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	診療情報管理士として3年間、病院に勤務。実務経験をもとに管理士認定試験対策に偏らず、医学用語の必要性やカルテを読解する際の注意点等を指導し、実践力を養う。					
□位置付け 診療情報管理業務に必須である医療用語、医学用語を系統的に学習し、実践で使える知識を習得する科目である。								
□授業の目的 診療情報管理士認定試験における診療情報管理Ⅱ医学用語の受験対策として以下の知識を習得する。 ①医学用語の造語の基本を理解する。 ②医学用語の語根、連結形、接頭語、接尾語、複合語についての知識を学ぶ。 ③診療情報管理士認定試験において出題される傾向の高い医療用語・医学用語を覚える。								
□授業の到達目標 ①診療情報管理認定試験に合格する。 ②医療用語・医学用語の意味を理解し、カルテを正確に読解することができる。								
□成績評価の方法			評価項目	割合	□成績評価に関するコメント			
出席状況				—	□学生へのメッセージ 医学用語の知識は診療情報管理認定試験の対策だけではなく、診療情報管理業務において極めて重要です。授業には集中して取り組みましょう。			
試験等	提出物		30					
	作文		—					
	随時試験		20					
	定期試験		50					
	平常の授業状況 ()		—					
	その他 ()		—					
合計				100%				
□テキスト				□参考図書・資料・参考ホームページ				
診療情報管理Ⅱ 基礎・医学・医療用語編								

□授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	循環器・呼吸器・消化器	循環器・呼吸器・消化器に関する医学用語の練習問題
2	泌尿器・生殖器・内分泌	泌尿器・生殖器・内分泌に関する医学用語の練習問題
3	神経・感覚器・骨格系	神経・感覚器・骨格系に関する医学用語の練習問題
4	小テスト	小テスト
5	皮膚・感染・寄生虫	皮膚・感染・寄生虫に関する医学用語の練習問題
6	精神医学・乳腺・周産期	精神医学・乳腺・周産期に関する医学用語の練習問題
7	医療職・医療機関	医療職・医療機関に関する医療用語の練習問題
8	定期試験	

科目名	国際統計分類 I			担当教員	江崎 侑子		単位数	2	
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定	○
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件	
実務経験 教員	○	実務経験 内容	総合病院の診療情報管理士として6年間従事。実務経験を活かし、現場における知識の活用も教授することで、実践力を養います。						
□位置付け 国際疾病分類の基本について理解し、ICD-10に則るコーディングの技能を習得する科目である。									
□授業の目的 この科目は診療情報管理士認定試験の指定科目である。 以下の知識を習得することで、診療情報管理士認定試験の合格を目指す。 ①国際統計分類の歴史、現状、課題について学ぶ。 ②WHO-FICやIFHIMAの意義を学ぶことで、わが国が担うべき国際的な役割を理解する。 ③国際統計群（ファミリー）を理解し、ICD・ICF・ICHI・ICD-Oコーディングについて学習する。 ④主要病態・原死因の選択ルールについて理解する。									
□授業の到達目標 ①国際統計分類の歴史、現状、課題について理解できる。 ②WHO-FICやIFHIMAの役割や意義が理解できる。 ③ICD・ICF・ICHI・ICD-Oの基本的なコード体系が理解できる。 ④コードブックを用いて、病名に対し適切なICD-10コードを付与することができる。									
□成績評価の方法		評価項目	割合	□成績評価に関するコメント					
出席状況			—	定期試験の他、各領域に応じた小テストを適宜実施します。					
試験等	提出物		—	□学生へのメッセージ 診療情報管理士認定試験の指定科目となります。知識の定着を確実に図れるよう、授業には集中して取り組みましょう。					
	レポート		—						
	随時試験		30						
	定期試験		70						
	平常の授業状況（ ）		—						
	その他（ ）		—						
合計			100%						
□テキスト ・診療情報管理Ⅳ 専門・8章～12章（日本病院会） ・ICD-10コードブック 1巻・3巻（厚生労働統計協会）				□参考図書・資料・参考ホームページ					

□授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	国際疾病分類 I	人口動態統計とその歴史
2	〃	統計分類表
3	〃	国際疾病分類の歴史
4	〃	ICD-10の改訂・改正
5	〃	ICD-10の特徴
6	〃	ファミリー、ICFの概念
7	〃	ICD-Oの構造、主要病態の選択ルール
8	〃	主要病態の選択演習（退院時サマリー演習）
9	〃	原死因の選択ルール
10	〃	原死因の選択演習
11	〃	周産期死亡の選択ルール、ICDの利用
12	〃	複数病態分類、複合病態分類および二重分類、表示記号と符号
13	〃	ICD-10の使用上の注意と問題点
14	〃	これまでのまとめ（定期試験試験対策）
15	定期試験	

科目名	国際統計分類Ⅱ			担当教員	江崎 侑子		単位数	2
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	総合病院の診療情報管理士として6年間従事。実務経験を活かし、現場における知識の活用法も教授することで、実践力を養います。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 国際疾病分類の基本について理解し、ICD-10に則るコーディングの技能を習得する科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 以下の知識・技能を習得することで、診療情報管理士認定試験の合格を目指す。 ①各章の疾病分類体系について理解する。 ②原死因選択・修正ルールを正しく理解することで、原死因コーディングを習得する。 ③退院時サマリーを読解し、主病名・副傷病のコーディングを行う。								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 ①コードブックを用いて、病名に対し適切なICD10コードを付与することができる。 ②退院時サマリーを読解し、主病名と副傷病名のコーディングができる。 ③ルールを理解し、適切な主要病態・原死因の選択ができる。 ④ICD-10の章構成やコード体系について理解できる。								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント 定期試験により評価をします。			
出席状況				—	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 疑問点は各授業内で解決ができるように心がけましょう。 認定試験の出題形式に合わせたオリジナル問題を配布するので、専用のA4ファイルを用意してください。			
試験等	提出物			—				
	レポート			—				
	随時試験			—				
	定期試験			100				
	平常の授業状況 ()			—				
その他 ()			—					
合計				100%				
<input type="checkbox"/> テキスト ・診療情報管理Ⅳ 専門・8章～12章(日本病院会) ・ICD-10コードブック 1巻・3巻 (厚生労働統計協会)				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	診療情報管理士試験対策	主要な病名のICDコーディング
2	〃	〃
3	〃	〃
4	〃	各章の体系構造の理解
5	〃	〃
6	〃	新生物ICDコーディング
7	〃	原死因分類コーディング
8	〃	〃
9	〃	〃
10	〃	退院時サマリーコーディング
11	〃	〃
12	〃	〃
13	〃	診療情報管理士試験対策問題の演習
14	〃	〃
15	定期試験	

科目名	がん登録演習			担当教員	遠山 伸洋		単位数	4
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	診療情報管理士として病院に3年勤務。実務経験をもとに、がん登録の必要性や現場でのがん登録における注意点を指導し、実践力を養う。					
□位置付け								
医療機関において求められるがん登録についての基礎知識を学び、実務スキルを身につけるための科目である。								
□授業の目的								
がん登録実務初級者認定試験が合格できるよう以下の知識の習得を目指す。								
①5大がんのTNM分類、取扱い規約等の病期分類を学ぶ。								
②標準登録様式を理解し、登録項目を正確に入力できるようにする。								
③がん登録の基礎知識、院内がん登録の運用方法について理解する。								
□授業の到達目標								
①がん登録実務初級者認定試験の合格を目指す。								
②UICC TNM分類を用いて5大がんのTNMやStageが評価できる。								
③標準登録様式に則り院内がん登録の必須項目が登録できる。								
□成績評価の方法		評価項目	割合	□成績評価に関するコメント				
出席状況			—	定期試験にて成績評価を行います。				
試験等	提出物		—	□学生へのメッセージ 全国がん登録は全ての病院において義務化されており、診療情報管理士の主要な業務です。将来的に必要な知識なので、授業には集中して取り組みましょう。				
	作文		—					
	随時試験		—					
	定期試験		100					
	平常の授業状況 ()		—					
	その他 ()		—					
合計			100%					
□テキスト がん登録オリジナルテキスト、国際疾病分類—腫瘍学 ICD-0 第3.1版、TNM悪性腫瘍の分類 第8版 日本語版				□参考図書・資料・参考ホームページ				

□授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	がん概論	がんとは何か、がん登録という「がん」とは
2	〃	がんの進行と拡がり、がんの病理像
3	がん登録概論	がん登録とがん対策、院内がん登録
4	〃	全国がん登録、これからのがん登録
5	がん登録システム論	院内がん登録を開始するために
6	〃	院内がん登録の業務の組み立て
7	病期分類概論	病期分類とは、UICC TNM分類
8	〃	取扱い規約分類、進展度分類
9	ICD-0 概論・コーディングルール	ICD-0-3、局在・形態コード
10	〃	局在と形態に対するコーディングガイドライン
11	標準登録様式各論	登録対象の考え方
12	〃	新しい標準登録様式
13	病期分類各論	胃の病期分類、大腸の病期分類、乳腺の病期分類
14	〃	肺の病期分類、肝の病期分類
15	病期分類 演習 胃	TNM分類、進展度分類の演習
16	病期分類 演習 大腸	〃

17	病期分類 演習 乳腺	〃
18	病期分類 演習 肺	〃
19	〃	〃
20	病期分類 演習 肝臓	TNM 分類、進展度分類、取扱い規約分類の演習
21	〃	〃
22	ICD-0-3 演習	ICD-0-3 コーディング演習
23	〃	〃
24	標準登録様式 演習	登録対象・対象外、当該腫瘍初診日、診断日
25	〃	来院経路、発見経緯、診断施設、治療施設、症例区分等
26	〃	標準登録様式 まとめ
27	模擬試験	がん登録実務初級者認定模擬試験①
28	模擬試験	がん登録実務初級者認定模擬試験②
29	模擬試験	がん登録実務初級者認定模擬試験③
30	定期試験	

科目名	病院マネジメントⅠ			担当教員	藤井 昌弘		単位数	2																																																				
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定																																																				
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件																																																				
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医療関連企業で、21年間勤務し病院経営支援に従事。300床クラスの総合病院で、2年間、経営支援、経営企画業務を担当。2005年から医療機関経営支援業務をコンサルティング企業で経営支援を行い、現在に至る。これらの実務をもとに現場での実例を交えながら講義します。																																																									
□位置付け 病院経営について理解し、病院における具体的な経営課題発見、解決方法についてディスカッション形式で学ぶ科目である。																																																												
□授業の目的 病院が置かれている経営環境を理解し、どのような経営課題があり、どのように解決するのか？ 基本的な知識と同時にブレインストーミングなど様々な解決手法をグループワークを通じて体験し、そのスキルを習得します。																																																												
□授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・医療界の経営環境の理解、問題点や課題の見つけ方を理解します。 ・課題の解決方法の事例の学習を通じて、解決策のプランニングのコツを習得します。 ・グループワーク演習を通じて、コミュニケーション、マネジメント、プレゼンテーションを学習します。 																																																												
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">□成績評価の方法</td> <td>評価項目</td> <td>割合</td> <td colspan="6">□成績評価に関するコメント</td> </tr> <tr> <td colspan="2">出席状況</td> <td></td> <td>20</td> <td colspan="6" rowspan="5"> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験で合格点でも、出席状況が悪ければ不合格となります。 ・定期試験 70%:100点満点の試験を実施しますが、70%換算値で計算します。 ・出席状況 20%:全て出席することで、+20点となり、1回の欠席につき、▲5点となります。 ・平常の授業(グループワークなど)において、1点から10点の加算を付けます □学生へのメッセージ 病院に就職したら、その日から使える知識です。また物事の解決方法を理解することによって、他の問題を解決する考え方や具体的な手法(応用力)が身につきます。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">試験等</td> <td>提出物</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>随時試験</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>定期試験</td> <td></td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平常の授業状況 ()</td> <td></td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他 ()</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td>100%</td> <td colspan="6"></td> </tr> </table>										□成績評価の方法		評価項目	割合	□成績評価に関するコメント						出席状況			20	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験で合格点でも、出席状況が悪ければ不合格となります。 ・定期試験 70%:100点満点の試験を実施しますが、70%換算値で計算します。 ・出席状況 20%:全て出席することで、+20点となり、1回の欠席につき、▲5点となります。 ・平常の授業(グループワークなど)において、1点から10点の加算を付けます □学生へのメッセージ 病院に就職したら、その日から使える知識です。また物事の解決方法を理解することによって、他の問題を解決する考え方や具体的な手法(応用力)が身につきます。						試験等	提出物		—	レポート		—	随時試験		—	定期試験		70		平常の授業状況 ()		10		その他 ()		—	合計			100%						
□成績評価の方法		評価項目	割合	□成績評価に関するコメント																																																								
出席状況			20	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験で合格点でも、出席状況が悪ければ不合格となります。 ・定期試験 70%:100点満点の試験を実施しますが、70%換算値で計算します。 ・出席状況 20%:全て出席することで、+20点となり、1回の欠席につき、▲5点となります。 ・平常の授業(グループワークなど)において、1点から10点の加算を付けます □学生へのメッセージ 病院に就職したら、その日から使える知識です。また物事の解決方法を理解することによって、他の問題を解決する考え方や具体的な手法(応用力)が身につきます。																																																								
試験等	提出物		—																																																									
	レポート		—																																																									
	随時試験		—																																																									
	定期試験		70																																																									
	平常の授業状況 ()		10																																																									
	その他 ()		—																																																									
合計			100%																																																									
□テキスト ・病院のマネジメント 建帛社					□参考図書・資料・参考ホームページ																																																							

□授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	病院の目的と定義	目的と法的な定義など
2	病院の機能	入院と外来
3	診療部門の役割と機能	部門の分類とチーム医療、診療プロセス
4	看護部門の役割と機能	チーム医療の看護部門の役割
5	看護部門の組織	組織構成と看護の質
6	診療技術部門 1	放射線科、臨床検査課
7	診療技術部門 2	臨床工学科、リハビリテーション科
8	診療技術部門 3	薬剤科、栄養科
9	事務部門 1	医事課、地域連携、医師事務作業補助、診療情報管理
10	事務部門 2	人事、総務、経理、資材、経営企画
11	リスクマネジメント	医療安全の経営のリスクマネジメント
12	病院組織	組織の原則、組織の基本形態
13	病院会計	財務会計と管理会計
14	人間関係のマネジメント	チーム医療、コミュニケーション能力
15	定期試験	

科目名	病院マネジメントⅡ		担当教員	藤井 昌弘		単位数	2
対象学科	診療情報管理専攻		学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期
実務経験 教員	○	実務経験 内容	医療関連企業で、21年間勤務し病院経営支援に従事。300床クラスの総合病院で、2年間、経営支援、経営企画業務を担当。2005年から医療機関経営支援業務をコンサルティング企業で経営支援を行い、現在に至る。これらの実務をもとに現場での実例を交えながら講義します。				
<input type="checkbox"/> 位置付け 病院経営について理解し、病院における具体的な経営課題発見、解決方法についてディスカッション形式で学ぶ科目である。							
<input type="checkbox"/> 授業の目的 就職後の自部署だけのことだけを理解するのではなく、もう少し広い範囲を理解し、数年後に初級管理者になるために必要な知識、スキルを身に付けることを学びます。 前期の病院マネジメント1で学習した内容がベースになります。前期が概要で、後期はその概要を踏まえての具体的な内容を学びます。							
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 医療機関の沿革を学ぶことから始まり、医療機関内の様々な部署の役割と結びつきを理解したうえで、組織や人事の管理（マネジメント）手法が理解、応用できるようにします。 増収対策と経費対策についてはグループ別に具体的な対応策を検討してもらいます。意見のまとめ方や発表方法も同時に学びます。							
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法		評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント			
出席状況			20	・定期試験で合格点でも、出席状況が悪ければ不合格となります。 ・定期試験 70%:100点満点の試験を実施しますが、70%換算値で計算します。			
試験等	提出物		—	・出席状況 20%:全て出席することで、+20点となり、1回の欠席につき、▲5点となります。			
	レポート		—	・グループ発表において、1点から10点の加算を付けます			
	随時試験		—	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 2年間学んできた専門的な事は、実際の医療の現場で起こっている事で同じことと違うことがあります。それらの理解に加え、皆さんが管理される側から管理する側になった際に必要な知識を勉強します。			
	定期試験		70				
	平常の授業状況（ ）						
その他（グループ発表）			10				
合計			100%				
<input type="checkbox"/> テキスト ・業務改革 医療経営士中級テキスト 7（日本医療企画）				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ			

□授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	業務改革の必要性	必要性の有無をディカッション
2	コスト対策の必要性	病院経営が置かれている外部環境の理解
3	増収対策	診療兼分析
4	増収対策	競合病院分析
5	増収対策	地域医療連携
6	増収対策	満足度向上
7	増収対策	病床利用率向上
8	増収対策	診療単科向上
9	経費対策	委託費削減1：医療事務
10	経費対策	委託費削減2：警備・清掃
11	経費対策	材料費対策1：診療材料費
12	経費対策	材料費対策2 医薬品費・事務用品
13	経費対策	人件費対策
14	経費対策	保守費・リース費対策
15	定期試験	

科目名	マイクロソフトオフィス応用演習		担当教員	脇田 恒志		単位数	4
対象学科	診療情報管理専攻		学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期
実務経験 教員	○	実務経験 内容	S Eとして IT 分野 10 年以上の経験を基に最新データベース技術及び、医療情報リテラシー等、医療分野での IT 応用知識を伝授し、学生の IT 活用スキルの向上を図る。				
<input type="checkbox"/> 位置付け 医療データ活用のために診療情報を抽出、集計、分析できるパソコンスキルを身につけるための科目である。							
<input type="checkbox"/> 授業の目的 実務を想定し、上司の指示に従い IT を利用して自ら問題解決できる能力を身につけることを目標にオフィスアプリケーションの実務応用技術をマスターする。							
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> Word を応用し、目的のドキュメンテーションを作成できる。 プレゼンテーション技法を理解し提案型プレゼンテーションの企画、制作、発表ができる。 Access データベースの分析と Excel へのエクスポート及び、Excel を応用し、Word と合わせて目的の資料を作成できる。 							
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法		評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント			
出席状況			30	社会人にも大切な出席と授業態度、取り組む姿勢などのプロセス評価は勿論、結果としての成果物も重視します。 <input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ 就職してから体験する IT 応用業務の予習だと思って問題解決力を身に付けていきましょう。			
試験等	提出物		40				
	レポート		—				
	随時試験		—				
	定期試験		—				
	平常の授業状況（授業態度）		30				
合計			100%				
<input type="checkbox"/> テキスト				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ			

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	ドキュメント作成技法①	資料作成とレイアウト、広報資料作成技法
2	ドキュメント作成技法①	資料作成とレイアウト、広報資料作成技法
3	ドキュメント作成技法②	カラー、コントラスト、アクセント、A I D M A 技術
4	ドキュメント作成技法②	カラー、コントラスト、アクセント、A I D M A 技術
5	業務指示（課題出題）	ドキュメント作成の指示、指示確認、目的・目標の明確化
6	ドキュメント制作	案内書の作成
7	ドキュメント制作	案内書の作成
8	ドキュメント制作	案内書の作成・課題提出
9	業務指示（課題出題）	広報・広告物の作成の指示、指示確認、目的・目標の明確化
10	ビジュアルオブジェクト制作	広報・広告物の作成
11	ビジュアルオブジェクト制作	広報・広告物の作成
12	ビジュアルオブジェクト制作	広報・広告物の作成・課題提出
13	Powerpoint 応用	スライド作成、図形描画、アニメーション設定、スライドショー
14	プレゼンテーション技法	情報伝達メカニズム、組み立て、発表、視覚化の技術
15	業務指示（課題出題）	プレゼンテーション制作指示、指示確認、目的・目標の明確化

回数	テーマ	授業の内容、進め方
16	プレゼンテーション制作	プレゼンテーションの企画・制作
17	プレゼンテーション制作	プレゼンテーションの企画・制作
18	プレゼンテーション制作	プレゼンテーションの企画・制作
19	プレゼンテーション制作	プレゼンテーションの企画・制作
20	プレゼンテーション制作	プレゼンテーションの企画・制作
21	プレゼンテーション	発表と課題提出
22	プレゼンテーション	発表と課題提出
23	プレゼンテーション	発表と課題提出
24	Word、Excel、Access 応用	デザイン、レイアウト、データ加工（名寄せ、抽出、整列）
25	業務指示（課題出題）	案内書発送指示、指示確認、目的・目標の明確化
26	案内DM発送先データの作成	案内書発送先データの作成（Access+Excel+Word）
27	案内DM発送先データの作成	案内書発送先データの作成・課題提出
28	医療イベント運営資料の作成	受講希望者名簿、会場運営資料作成（Access+Excel+Word）
29	医療イベント運営資料の作成	受講希望者名簿、会場運営資料作成（Access+Excel+Word）
30	医療イベント運営資料の作成	受講希望者名簿、会場運営資料作成・課題提出

科目名	データベース応用演習			担当教員	江畑 里絵		単位数	4
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	演習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	後期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	システムエンジニアとして5年間システム開発会社に勤務。顧客へのシステム導入経験をもとにシステム活用に必要な知識を丁寧に指導していく。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 医療データ活用のために診療情報を抽出、集計、分析できるパソコンスキルを身につけるための科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 <ul style="list-style-type: none"> データベースとは何かを学習する。 医療情報を業務で活用するための Access の使用方法について学習する。 Access を利用して SQL について学習する。 								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> データベースについて理解する。 Access の利用方法について理解する。 Access を利用して SQL 文について理解する。 								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法			評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント			
出席状況				20	授業態度と提出物を重視して評価します。			
試験等	提出物			50	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ データベースと聞くと難しく感じるかもしれませんが、普段、無意識に利用しているものになりますので難しく考えず取り組んでみてください。			
	作文							
	随時試験							
	定期試験							
	平常の授業状況 ()			30				
その他 ()								
合計				100%				
<input type="checkbox"/> テキスト					<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ			
SQL ゼロからはじめるデータベース操作								

授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	データベースとは①	データベースの概要
2	データベースとは②	リレーショナルデータベースとは
3	Access とは①	Access の基礎
4	Access とは②	Access 画面の説明
5	テーブルとは①	テーブルの制約、表計算との違い
6	テーブルとは②	主キーとは、インデックスとは
7	データ型とは	Access のデータ型
8	テーブルを作成してみよう①	テーブル設計
9	テーブルを作成してみよう②	テーブル作成の基礎
10	テーブルを作成してみよう③	参照項目のあるテーブル
11	テーブルを作成してみよう④	複合キーによるリレーションシップ
12	式と関数①	式とは何か、演算子の紹介
13	式と関数②	関数とは
14	クエリの作成①	クエリの作成
15	クエリの作成②	絞り込み

□授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
16	クエリの作成③	並べ替え
17	クエリの作成④	表示内容の加工
18	クエリの作成⑤	内部結合と外部結合
19	SQL とは	SQL とは
20	SQL の基本①	Select 文
21	SQL の基本②	条件追加
22	SQL の基本③	並び替え
23	SQL の応用①	テーブルの結合
24	SQL の応用②	集約関数
25	SQL の応用③	副問い合わせ
26	SQL でデータを追加①	INSERT 文
27	SQL でデータを追加②	〃
28	SQL でデータを更新①	UPDATE 文
29	SQL でデータを更新②	〃
30	SQL でデータを削除	DELETE 文

科目名	キャリアデザインC			担当教員	遠山 伸洋		単位数	1
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員		実務経験 内容						
□位置付け 自らの将来をイメージし、その目標に向かうために、キャリアサポートプログラム（WCSP）による就職活動の支援、指導等を行う科目である。								
□授業の目的 社会人化教育 ～社会で自立して生きる力をつける～ ①社会のルール・マナーを学び、身に着け、実践する。 ②コミュニケーション能力の向上を図る。 ③自己を分析し、自分自身を理解する。 ④自らの将来を考え、目標を定め、準備する。								
□授業の到達目標 ①自身の考えを的確に伝えられるよう自己表現力を身につける。 ②職業理解に努め、自分の将来像を明確に表現できる。 ③セルフプロデュース力を身につける。								
□成績評価の方法		評価項目	割合	□成績評価に関するコメント				
出席状況			50	授業の出席状況と、プログラムへ取り組む姿勢や態度を総合的に評価します。 □学生へのメッセージ 自分の将来像を見据え、積極的に取り組みましょう。				
試験等	提出物		-					
	作文		-					
	随時試験		-					
	定期試験		-					
	平常の授業状況（ ）		50					
その他（ ）		-						
合計			100%					
□テキスト Challenge 就職活動ノート				□参考図書・資料・参考ホームページ				

□授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	面接試験対策①	インストラクターによる面接試験練習【基本編】グループ別
2	面接試験対策①	インストラクターによる面接試験練習【基本編】グループ別
3	面接試験対策①	インストラクターによる面接試験練習【基本編】グループ別
4	特別講演	卒業生キャリア報告会
5	面接試験対策②	面接試験でより良く自分を表現する【応用編】グループ別
6	面接試験対策②	面接試験でより良く自分を表現する【応用編】グループ別
7	面接試験対策②	面接試験でより良く自分を表現する【応用編】グループ別
8	就職模擬面接会	医療機関採用担当者による模擬面接と指導

科目名	医療情報技師概論		担当教員	酒井・三宮		単位数	4
対象学科	診療情報管理専攻		学年	1年	授業形態	講義	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期
実務経験 教員	○	実務経験 内容	看護師として3年間新生児集中治療室に勤務した後、現在厚生労働省科学研究班にて、研究のマネジメントと分析を行っている。臨床と行政の2つの視点から、医療情報や医療システムに関する必要スキルを、分かりやすく丁寧に教授する。				
□位置付け IT化が進む医療業界のニーズに対応するため、医療の特質を踏まえた情報処理技術に基づき、医療情報を安全かつ有効に活用できる知識・技術を身につける							
□授業の目的 毎年8月に行われる「医療情報技師試験」は、病院のシステム部門や経営企画室等で働くための基本的な知識を扱う民間資格である。この授業では、医療情報技師検定合格に向け、情報処理技術分野と医療情報システム分野を中心に、知識の理解と定着を目指していく。その結果、科目履修者全員が、医療情報技師試験に合格することを目的とする。							
□授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・過去5年分の医療情報技師試験で出題された選択問題の8割以上について、根拠を持って回答を選択することができる。 ・8月実施予定の医療情報技師試験に科目履修者全員が合格する。 							
□成績評価の方法		評価項目	割合	□成績評価に関するコメント			
出席状況				<ul style="list-style-type: none"> ・提出物は、以下2つを基に点数をつける。 (1)Google formを用いた問題演習(2択問題、過去問5年分) (2)勉強に使用したノート2冊 ・授業内で質問すると1点加算する(最大10点まで) 			
試験等	提出物		50	□学生へのメッセージ ・本授業はオンデマンドと対面授業を併用して行い、各自が自主学習をする必要がある。初回授業オリエンテーションを聞き、この選択科目を履修するかどうか判断してほしい。			
	作文						
	随時試験						
	定期試験		40				
	平常の授業状況 ()		10				
	その他 ()						
合計			100%				
□テキスト 医療情報技師能力検定試験過去問題・解説集 2020(南江堂)				□参考図書・資料・参考ホームページ 医療情報第6版(情報処理技術編)(篠原出版新社) 医療情報第6版(医療情報システム編)(篠原出版新社) 医療情報技師一問一答(エジュカルサポート)			

□授業計画

回数	テーマ	授業の内容、進め方
1	オリエンテーション・情報の表現	試験で問われやすい知識の解説、問題演習
2	ハードウェア	〃
3	ソフトウェア	〃
4	データの種類と表現	〃
5	データベース技術	〃
6	質問対応(対面授業)	勉強する中でわからないところを生徒から聞き、解決する
7	ネットワーク技術	〃
8	情報セキュリティ	〃
9	情報システムの開発	〃
10	情報システムの運用と管理	〃
11	最新の情報技術と情報サービス	〃
12	質問対応(対面授業)	勉強する中でわからないところを生徒から聞き、解決する
13	医療情報の特性とそれを支えるシステム	〃
14	医療を支える情報システムの構成	〃
15	病院情報システムの機能①	〃

16	病院情報システムの機能②	〃
17	病院情報システムの導入	〃
18	病院情報システムの運用	〃
19	システムの評価と改善	〃
20	質問対応（対面授業）	勉強する中でわからないところを生徒から聞き、解決する
21	医療情報の標準化	〃
22	医療情報技師のスキル	〃
23	医療情報分野の将来	〃
24	医療・病院管理	〃
25	医療プロセスと看護学	〃
26	診療録および医療記録	〃
27	医学研究	〃
28	医学医療統計	〃
29	定期試験対策（対面授業）	勉強する中でわからないところを生徒から聞き、解決する
30	定期試験（対面授業）	定期試験の実施と解説

科目名	診療情報管理実習			担当教員	遠山 伸洋		単位数	2
対象学科	診療情報管理専攻			学年	1年	授業形態	実習	法令等指定
履修方法	登録指定科目	科目内容	専門科目	授業期間	半期	学期	前期	卒業要件
実務経験 教員	○	実務経験 内容	診療情報管理士として病院で3年勤務。DPCデータの作成、データを活用した分析等の実務経験をもとに実践力を養う。					
<input type="checkbox"/> 位置付け 診療情報管理士の実際の業務を体験し、診療情報管理士に求められる役割、業務、職業倫理を理解し、授業で習得した知識・技能を実習において実践し、着実に身につけるための科目である。								
<input type="checkbox"/> 授業の目的 <ul style="list-style-type: none"> 診療情報管理業務の実際の業務内容、流れを理解し、3年間で学習した内容を実践する。 学習した内容を基に、就業後に診療情報管理の実務に対応できる応用力を身につける。 診療情報管理業務の重要性・必要性を体得し、診療情報管理士試験合格へのモチベーション向上を図る。 								
<input type="checkbox"/> 授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 診療情報管理士の役割、業務内容を理解し、指示のもと正確に業務を遂行できる。 他職員、他職種の業務を理解し、連携し協働できる。 医療従事者として必要な職業倫理を身につけ、実践できる。 日々の実習を振り返り、不十分な点を明確に把握し、自ら修正できる。 								
<input type="checkbox"/> 成績評価の方法		評価項目	割合	<input type="checkbox"/> 成績評価に関するコメント				
出席状況			50	<input type="checkbox"/> 実習の出勤状況、実習状況、総合評価を総合的に判断して評価します。				
試験等	提出物		—					
	レポート		—					
	随時試験		—					
	定期試験		—					
	平常の授業状況（実習状況）		30					
		その他（実習総合評価）	20	<input type="checkbox"/> 学生へのメッセージ ・実際の医療機関で診療情報管理業務を経験できる貴重な機会です。常に学ぶ姿勢を持ち、前向きに積極的に臨みましょう。				
		合計	100%					
<input type="checkbox"/> テキスト ・実習日誌				<input type="checkbox"/> 参考図書・資料・参考ホームページ				

授業計画

回数	テーマ	内容
1	診療情報管理業務の実習	<主な内容>
2		・診療録管理業務（貸出・返却・収納・製本）
3		・診療録監査
4		・診療録開示
5		・ICDコーディング
6		・DPC業務
7		・各種統計業務（クリニカルインディケータ含む）
8		・がん登録業務
9		・NCD登録業務
10		・様式1作成

2022 SYLLABUS 講義要項

発行日 2022年4月1日

発行人 橋本 正樹

発行所 学校法人 川口学園

早稲田速記医療福祉専門学校

〒171-8543 東京都豊島区高田3-11-17